

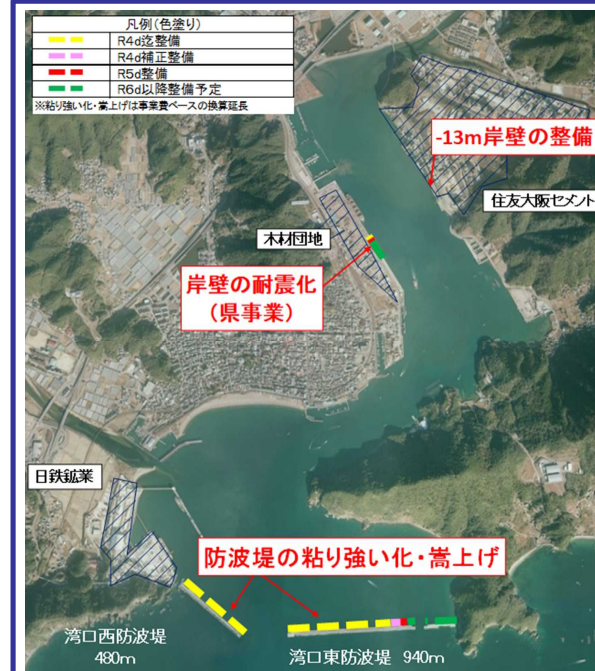
地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

◆高知県内の重要港湾における岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進

[高知港 三里地区]

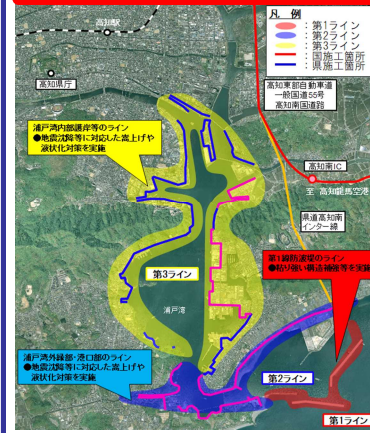
[須崎港]

[宿毛湾港 池島地区]



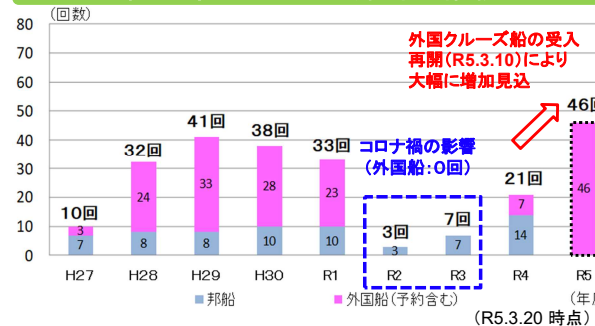
- ◆静穏度不足により荷役障害やロープが切れる被害が発生
⇒南防波堤の延伸を促進
- ◆地震・津波対策
⇒三重防護の第1ラインを担う防波堤の粘り強い化・嵩上げの促進
- ◆コンテナ船の大型化に伴い岸壁水深が不足
⇒コンテナ岸壁の増深(-8m→-10m)整備が必要

防災・減災対策(三重防護対策)



- ◆湾口防波堤がH26.3竣工
・静穏度が向上したことにより、企業の生産活動が活発化
・津波に対する安全性が格段に向上
⇒H26以降港湾取扱貨物量(フェリー除く)が四国1位
⇒大水深岸壁(-13m)の整備が必要

高知県のクルーズ船寄港推移



- ◆池島第2防波堤がR2.8竣工
・静穏度の確保により、利用船舶の安全性・利便性が向上
・防災拠点港としての機能強化
⇒池島第1・第2防波堤の粘り強い化・嵩上げの促進



◆防災・減災効果を発揮するとともに、既存岸壁等を最大限に活用するためには、防波堤の整備や粘り強い化等の推進が必要です。

《政策提言》 ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の各年度予算を十分に確保するとともに、令和5年度補正予算についても例年以上の規模での確保をお願いします。